

取扱説明書

サスペンションフォーク



警告！

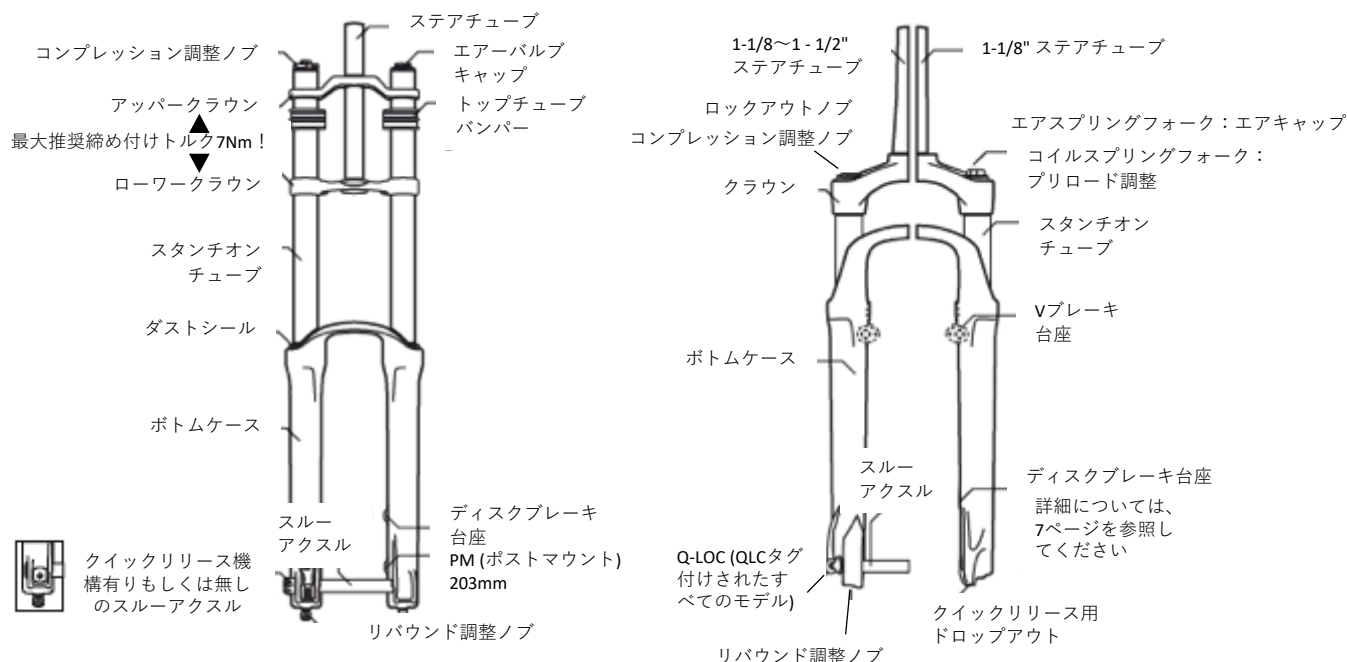
本説明書をよくお読みになり、理解したうえで正しく安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも再び読めるように安全な場所に保管してください。SR SUNTOUR製品の使用やメンテナンスに当たって不明な点がある場合はご連絡ください。警告や指示をお守りいただけないと、製品が正常に動作しない可能性があり、事故や怪我、致命傷につながります。

概要.....	2
安全に関する重要な情報.....	2
ご乗車の前に.....	3
フォークの取り付けについて.....	3
タイヤとの間隔の確認.....	3
タイヤとの間隔.....	4
推奨タイヤサイズ.....	5
ディスクブレーキ最大取付可能ローターサイズ.....	7
15AH2/12AH2ボルト止めアクスルの取り付け・取り外し.....	8
20mmツールタイプアクスルの取り付け・取り外し.....	9
20mmツールフリーアクスルの取り付け・取り外し.....	9
Q-LOCの取り付け・取り外し.....	10
SAGの設定.....	11
エアプレッシャーの調整.....	11
エアボリュームの調整.....	12
コイルスプリングのプリロード調整.....	13
フォークのメンテナンス.....	12
対象のバイクタイプ・カテゴリー.....	13



当社のウェブサイトには、CN、DE、EN、ES、FR、IT、JP、NLの言語オプションがあります。次の場所に移動してください：

www.srsuntour-cycling.com > Service > Download area > Consumer Downloads > Bike > Owners manuals > General Fork Manual



安全に関する重要な情報



警告！

警告や安全に関するすべての指示をお守りいただけないと、製品が正常に動作しない可能性があり、事故や重い人身傷害、乗員の致命傷につながる場合があります。

- サスペンションフォークをお使いになる前に、本説明書をよくお読みください。
- 記載されている指示内容には、お使いのサスペンションフォークの正しい取り付け方や点検・整備、メンテナンスに関する重要な情報が含まれています。一般的な機械知識では対応できない場合がありますので、お使いのサスペンションフォークの取り付けや点検・整備は、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士が専用の工具を使用して行う必要があります。
- SR SUNTOURのサスペンションフォークには超高压の液体やガスが使われています。SR SUNTOURのサスペンションフォークは絶対に分解しないでください。部品が勢いよく飛び出すことがあります。
- SR SUNTOURのサスペンションフォークは1つの統合システムとして設計されています。正常に動作させて事故を防止するために、必ずSR SUNTOURの純正部品を使用してください。他社のスペアパーツを使用した場合、お使いのサスペンションシステムは保証対象外となります。
- 禁止の警告ステッカーが貼られている場合、当該サスペンションシステムはジャンプや急勾配のダウンヒル、フリーライド、ダートジャンプを目的とした製品ではありません。こうした指示を無視してお使いになると、サスペンションシステムの故障の原因となり、事故や人身傷害、致命傷につながるだけでなく、保証の対象外となります。
- SR SUNTOURのサスペンションフォークは、乗員1名による使用を前提として設計されています。
- お使いのフレームの寸法や乗車スタイルに合わせて、適切なサスペンションフォークをお選びください。フレームの寸法に合わないサスペンションフォークを取り付けると、サスペンションフォークやフレームの故障の原因となり、サスペンションの保証も無効になります。
- 自分の技量や経験の限界を把握し、決して無理な乗り方はしないでください。
- 自転車や関連するコンポーネントの取扱説明書をよくお読みになり、理解した上で正しくお使いください。
- 必ず適切な安全装備をお使いください。自転車用ヘルメットは頭に合ったものを、きちんとあごひもを締めて着用してください。自分の乗車スタイルに合わせて、適切な安全装備を適宜使用してください。安全装備は必ず最適なコンディションのものをお使いください。
- これまでに別のサスペンションシステムをお使いになっていた場合でも、新しいサスペンションフォークを購入した場合は慎重にスピードを出さずに乗車し、その感覚に徐々に慣れるようにしてください。
- SR SUNTOURのサスペンションフォークには公道を走る際に必要なフロントリフレクターは付いていません。公道や自転車専用道路を走る場合は、必ずフロントリフレクターを取り付けてください。詳細は販売店にお問い合わせください。
- 前輪を外して使用するタイプの自転車用ラックをお使いの場合は、フォークのつめ部分のラックへの抜き差しを慎重に行うようにしてください。フォークのつめを曲げないようにご注意ください。
- フォークのつめだけで自転車を固定するタイプの自転車用ラックをお使いの場合は、必ず後輪をしっかりと固定して動かないようにしてください。後輪が動くとフォークのつめが損傷する可能性があり、このような損傷は見た目では気付かない場合があります。
- 自転車が自転車用ラックから外れ落ちてしまった場合は、乗車する前に資格を持つ自転車整備士に点検してもらってください。



警告！

重度の人身傷害や致命傷を防止しましょう。以下の基準のいずれかを満たしていない場合は自転車に乗ってはいけません。必ず適正な状態を確認してからご乗車ください。

- 自転車とサスペンションシステムを点検し、ハンドルやペダル、クランク、シートポスト、サドルなどに亀裂やへこみ、ねじれ、変色がないか確認してください。また、サスペンションにオイル漏れがないことも確認してください。自転車の下側の見えない部分も必ず確認してください。いずれかの状態が確認できた場合は、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士に見てもらい、原因を突き止めて必要な処置を行ってください。
- 体重をかけてサスペンションシステムを圧縮してみてください。柔らかすぎると感じた場合は必要な調整を行い、適正なサグ(沈み量)にしてください。沈み量につきましては、本説明書の「空気圧とサグ(沈み量)」を参照してください。ブレーキが適切に取り付け/調整され、適正に動作することを確認してください。
- ブレーキが正しく取り付けられ、調整され、正しく作動することを確認してください。
- 前後の車輪を回転させて、両輪とも正確に中心に位置し、サスペンションシステムやブレーキに接触していないことを確認してください。
- 前後の車輪をクイックリリースシステムで固定している場合は、すべてのレバーやナットが適切に締め付けられていることを確認してください。スルーアクスルシステムをお使いの場合は、すべての取り付けボルトが適正なトルク値で締め付けられていることを確認してください。クイックリリースやスルーアクスルを提供するメーカーの取扱説明書をよくお読みになり、必ず指示に従うようにしてください。
- ケーブル長や取り回しを確認し、自転車のハンドルを切ってもどこにも干渉しないようにしてください。
- 公道を走るためにリフレクターを付けている場合は、汚れていない事、適切に取り付けられている事を確認してください。
- すべてのコンポーネントの取り付けを点検し、しっかり固定されていることを確認してください。
- 地面で自転車をバウンドさせ、緩んでいるところがないことを目と音で確認してください。

フォークの取り付け



警告！

製品を正常に動作させて事故や人身傷害、致命傷を回避してください。ご購入いただいたSR SUNTOURのサスペンションフォークは、訓練を受けて資格を持つ自転車整備士が取り付けや点検・整備を行う必要があります。製品を正常に動作させて事故や人身傷害、致命傷を回避してください。ブレーキやヘッドセットなどの取り付け用ねじはすべて、それぞれのコンポーネントを製造するメーカーが指定するトルク値で締め付ける必要があります。

1. 古いフォークを自転車から取り外し、フォークからクラウンレースパーツを外してください。
2. 古いフォークのステアリングステムの長さを測り、SR SUNTOURのフォークのステアチューブの長さとは比べます。SR SUNTOURのサスペンションフォークのステアチューブ長は標準で255mmとなっているため、短く切って適正な長さに調整する必要があるかもしれません。
3. フォーククラウン上端部にクラウンレースパーツをしっかり圧入します。フォークやその他の部品(ヘッドセット、スペーサー、ハンドルステム)を自転車に再装着します。ヘッドセットを調整して遊びをなくしてください。詳細はヘッドセットに付属している取り付け説明書を参照してください。
適正なステアリングステムの長さは以下の要領で算出できます：
フレームのヘッドチューブ長+ヘッドセットの高さ+スペーサー(使用する場合)+ステムの高さ-3mm(間隔)
4. ブレーキの説明書を参照してブレーキを取り付け、適切に調整してください。ディスクブレーキを使用している場合は、必ずディスクブレーキ取り付け用の穴に取り付けるようにしてください。カンチレバーブレーキの場合は、サポートシステムなしで使えるものを使用してください。ブレーキに付属している組み立て説明書を参照し、ブレーキケーブルは、フォークやハンドルに干渉しない適切な長さのものにしてください。
5. 前輪を取り付けます。締め付けレバーやナットはすべて、必ず適切にセットして締め付けるようにしてください(クイックリリースを固定するには、ナットに少なくともねじ山が4回転入っていることが必要です)。スルーアクスルを備えたフォークの場合は、すべてのねじが適切なトルクで締め付けられていることを確認してください。クイックリリースまたはスルーアクスルに付属している説明書を参照してください。

タイヤとの間隔の確認

1. フォークのスプリング側から空気を抜きます（エアーサスペンションフォークの場合）。
2. フォークを奥までしっかり圧縮します。
3. タイヤ上端部とフォーククラウン下面の間の距離を測定します。必ず**10mm**以上を確保してください。タイヤが大きすぎると、フォークが最大限縮んだ時にクラウン下面に接触してしまいます。
4. 確認が終わり問題がなければ、エアーサスペンションの場合は空気を再度規定圧まで注入してください。
5. 泥よけ（フェンダー）をお使いの場合は、その分間隔が狭まることに注意してください。この「タイヤとの間隔の確認」を繰り返し行い、クリアランスを十分確保してください。この確認は、タイヤのサイズを変更するたびに繰り返し行う必要があります。

タイヤとの間隔



警告！

フォークに装着可能なサイズよりも大きなタイヤを使用するのは非常に危険であり、事故や大怪我、致命傷につながります。タイヤとの間隔を十分に取りないと自転車他突然制御不能になる場合があります、事故や人身傷害、致命傷につながります。

下記の寸法はボトムケースのタイプに基づいています。いくつかの数値は、泥除け装着用ダボを持つボトムケースタイプに基づいています。事前に車輪とフォークが適合していることを確認してください。タイヤに関する必要な情報はタイヤ側面に記載されています。タイヤ外径（タイヤの幅と高さ）はタイヤによって異なります。そのため、タイヤとフォークの間隔を確認し、いかなる状況下でもタイヤとフォークが接触しないようにする必要があります。フォークとタイヤの間隔がいちばん狭いのは、ディスクブレーキの場合はブレーキホースが固定されている辺り、Vブレーキの場合はブレーキ台座の辺りです。タイヤを外す場合は、何よりもまず先にタイヤの空気を抜いてください。そうすればタイヤは間隔の狭いところもフォークに接触せずに通り抜けます。

推奨タイヤサイズ

フォークモデル	スタンション チューブ サイズ	推奨タイヤ サイズ	最大タイヤ幅	最大タイヤ外径 (O.D.) (*以下注意)
RUX38 29" BT	38mm	29" x 2.8"	73mm	770mm
RUX38 27.5" BT	38mm	27.5" x 2.8"	73mm	732mm
DUROLUX38 29" BT	38mm	29" x 2.6" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm
DUROLUX36 29" BT	36mm	29" x 2.6" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm
DUROLUX36 27.5" BT	36mm	27.5" x 2.6"	63mm	723mm
AURON35 29" BT	35mm	29" x 2.4" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm
AURON35 27.5" BT	35mm	27.5" x 2.8"	73mm	737mm
AURON34 29"	34mm	29" x 2.25"	58mm	752mm
AURON34 27.5"	34mm	27.5" x 2.25"	58mm	708mm
AION35 29" BT	35mm	29" x 2.4" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm
AION35 27.5" BT	35mm	27.5" x 2.8"	73mm	737mm
AION34 29"	34mm	29" x 2.25"	58mm	752mm
AION34 27.5"	34mm	27.5" x 2.25"	58mm	708mm
ZERON35 29" BT	35mm	29" x 2.4" / 27.5" x 2.8"	63mm	756mm
ZERON35 27.5" BT	35mm	27.5" x 2.8"	73mm	737mm
AXON34-werx 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
AXON34-elite 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
AXON34 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
AXON34 27.5" BT	34mm	27.5" x 2.6"	67mm	725mm
AXON32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
AXON32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.5"	66mm	724mm
AXON32 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm
AXON32 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm
EPIXON 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm
EPIXON 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm
EPIXON 26"	32mm	26" x 2.25"	58mm	684mm
RAIDON34 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
RAIDON34 27.5" BT	34mm	27.5" x 2.6"	67mm	725mm
RAIDON32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
RAIDON32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.5"	66mm	724mm
RAIDON32 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm
RAIDON32 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm
RAIDON32 26"	32mm	26" x 2.25"	58mm	684mm
XCR34 29" BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
XCR34 27.5" BT	34mm	27.5" x 2.6"	67mm	725mm
XCR32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
XCR32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.5"	66mm	724mm
XCR32 29"	32mm	29" x 2.25"	58mm	754mm
XCR32 27.5"	32mm	27.5" x 2.25"	58mm	710mm
XCR32 26"	32mm	26" x 2.25"	58mm	684mm
XCR 24"	32mm	24" x 2.1"	54mm	624mm

XCM34 29 BT	34mm	29" x 2.4"	63mm	756mm
XCM34 27.5 BT	34mm	27.5" x 3.0"	78mm	740mm
XCM32 29" BT	32mm	29" x 2.4"	63mm	752mm
XCM32 27.5" BT	32mm	27.5" x 2.6"	67mm	730mm
XCM 24" BT	30mm	24" x 2.8"	73mm	678mm
XCM 29"	30mm	29" x 2.4"	63mm	758mm
XCM 27.5"	30mm	27.5" x 2.25"	58mm	714mm
XCM 26"	30mm	26" x 2.25"	58mm	688mm
XCM-JR. 20"	28mm	20" x 2.1"	56mm	526mm
XCT30 29"	30mm	29" x 2.25"	58mm	750mm
XCT30 27.5"	30mm	27.5" x 2.25"	58mm	714mm
XCT L24"	28mm	24" x 2.1"	54mm	628mm
XCT 20" plus	28mm	20" x 2.8"	73mm	554mm
XCT L20"	28mm	20" x 2.1"	56mm	526mm
XCT 24"	25.4mm	24" x 2.1"	54mm	628mm
XCT 20"	25.4mm	20" x 2.1"	56mm	526mm
XCE28 29"	28mm	29" x 2.25"	58mm	750mm
XCE28 27.5"	28mm	27.5" x 2.25"	58mm	714mm
XCE28 26"	28mm	26" x 2.1"	54mm	680mm
MOBIE34 700C	34mm	700C x 57C	62mm	753mm
MOBIE34 27.5"	34mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
MOBIE45 700C	34mm	700C x 57C	59mm	751mm
MOBIE45 27.5"	34mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
MOBIE25 700C	32mm	700C x 57C	59mm	751mm
MOBIE25 27.5"	32mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
MOBIE-A32 29"	32mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
MOBIE-A32 27.5"	32mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
MOBIE-A32 20" CRG	32mm	20" x 2.25"	58mm	530mm
XCT-ATB 29"	28mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
XCT-ATB 27.5"	28mm	27.5" x 2.4"	63mm	724mm
GVX32-15 700C	32mm	700C x 45C	50mm	722mm
NRX32-15 700C	32mm	700C x 48C	50mm	722mm
NRX30 700C	30mm	700C x 48C	50mm	722mm
NVX30 29"	30mm	29" x 2.4"	63mm	760mm
NVX30 27.5"	30mm	27.5" x 2.4"	63mm	717mm
NCX30 700C	30mm	700C x 48C	50mm	722mm
TR-HSi 700C	30mm	700C x 52C	54mm	738mm
NEX-E25 700C	30mm	700C x 52C	54mm	738mm
NEX-E25 26"	30mm	26" x 2.1"	54mm	678mm
NEX 700C	28mm	700C x 48C	50mm	738mm
NEX 26"	28mm	26" x 2.1"	54mm	678mm
M3010-700C	25.4mm	700C x 52C	54mm	742mm
M3010-26"	25.4mm	26" x 2.1"	54mm	684mm
M3010-24"	25.4mm	24" x 2.1"	54mm	630mm
M3010-20"	25.4mm	20" x 2.1"	56mm	526mm
CR85-E25 700C	30mm	700C x 48C	50mm	722mm
CR85-E25 26"	30mm	26" x 2.1"	54mm	684mm
CR8 700C	28mm	700C x 48C	50mm	722mm
CR8 26"	28mm	26" x 2.1"	54mm	684mm
CR7 700C	25.4mm	700C x 48C	50mm	722mm
CR7 26"	25.4mm	26" x 2.1"	54mm	684mm

* 注意：上記の寸法は、泥除け装着用ダボ付きボトムケース、もしくは泥除け装着用ダボなしの寸法となります。詳細につきましては、フォーク仕様書をご確認ください。

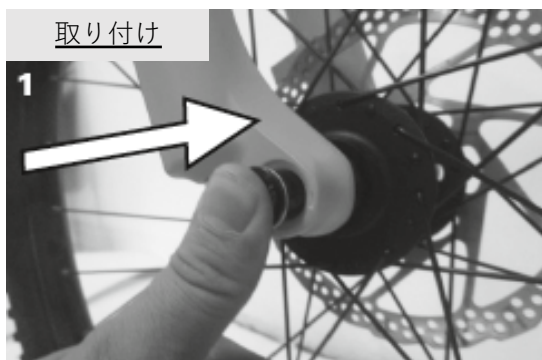
ディスクブレーキ最大取付可能ローターサイズ

フォークモデル	スタンチオンチューブ サイズ	ディスクキャリパーを直接取 り付けたときのローター取り 付け最大可能サイズ	最大使用可能 ローターサイズ
RUX38 29" BT	38mm	203mm	203mm
RUX38 27.5" BT	38mm	203mm	203mm
DUROLUX38 29" BT	38mm	203mm	220mm
DUROLUX36 29 BT	36mm	180mm	220mm
AURON35 29"/27.5" BT	35mm	180mm	203mm
AURON34 29"/27.5"	34mm	160mm	203mm
AION35 29"/27.5" BT	35mm	180mm	203mm
AION34 29"/27.5"	34mm	160mm	203mm
ZERON35 29"/27.5" BT	35mm	180mm	203mm
AXON34-werx 29" BT	34mm	160mm	180mm
AXON34 29"/27.5" BT	34mm	180mm	203mm
AXON32 29"/27.5" BT	32mm	160mm	180mm
AXON32 29"/27.5"	32mm	160mm	180mm
EPIXON 29"/27.5"/26"	32mm	160mm	180mm
RAIDON34 29"/27.5" BT	34mm	180mm	203mm
RAIDON32 29"/27.5" BT	32mm	160mm	180mm
RAIDON32 29"/27.5"/26"	32mm	160mm	180mm
XCR34 29"/27.5" BT	34mm	180mm	203mm
XCR32 29"/27.5" BT	32mm	160mm	180mm
XCR32 29"/27.5"/26"	32mm	160mm	180mm
XCR 24"	32mm	160mm	180mm
XCM34 29"/27.5" BT	34mm	160mm	203mm
XCM32 29"/27.5" BT	32mm	160mm	180mm
XCM30 29"/27.5"/26"	30mm	160mm	180mm
XCM 24" BT	30mm	160mm	180mm
XCM-JR. 20"	30mm	160mm	180mm
XCT30 29"/27.5"	30mm	160mm	180mm
XCT28 L24"	28mm	160mm	180mm
XCT 20" plus	30mm	160mm	180mm
XCT L20"	30mm	160mm	180mm
XCT 24"/20"	25.4mm	160mm	180mm
XCE28 29"/27.5"/26"	28mm	160mm	180mm
Mobie45 700C/27.5"	34mm	160mm	203mm
MOBIE34 700C/27.5"	34mm	180mm	203mm
Mobie25 700C/27.5"	32mm	160mm	180mm
Mobie-A32 29"/27.5"	32mm	160mm	180mm
MOBIE-A32 20" CRG	32mm	160mm	180mm
XCT-ATB 29"/27.5"	28mm	160mm	180mm
GVX32-15 700C	32mm	160mm	180mm
NRX32-15 700C	32mm	160mm	180mm
NRX30 700C	30mm	160mm	180mm
NVX30 29"/27.5"	30mm	160mm	180mm
NCX30 700C	30mm	160mm	180mm
NCX28 26"	28mm	160mm	180mm
NEX-E25 700C	30mm	160mm	180mm
NEX 700C/26"	28mm	160mm	180mm
M-series	25.4mm	160mm	180mm

15AH2/12AH2ボルト止めアクスルの取り付け・取り外し

注意：取り付けの前に、Oリングがねじ部に正しく装着されていることを確認してください。

取り付け



1. 自転車の右側（駆動側）から車軸をしっかり押し込みます。

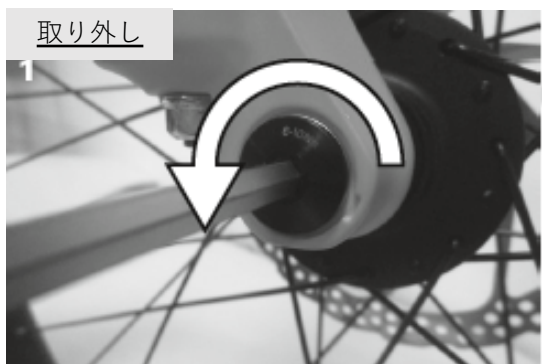


2. アクスルを6mmのアーレンキで、推奨される締め付けトルク8-10Nmで締めます。

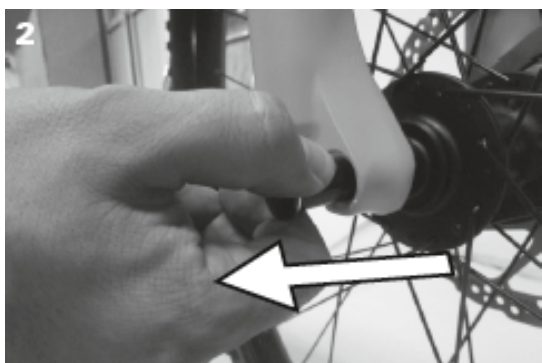


3. 完全に締め付け後、アクスルのネジが視認できることを確認してください。

取り外し



1. 6mmのアーレンキでドライブ側からアクスルを緩めます。



2. アクスルを引き出します。

20mmツールタイプアクスルの取り付け・取り外し



1. アクスルを差し込み、6mm六角レンチを使って締め付けます。(推奨締付トルク：10Nm)



2. セキュリティクランプを4mm六角レンチで締め付けます。(推奨締付トルク：7Nm)

※取り外しの際は、上記の逆順になります。

20mmツールフリーアクスルの取り付け・取り外し



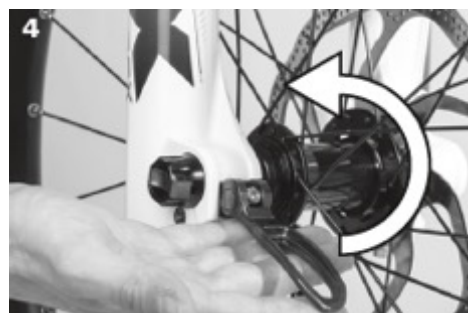
1. 自転車の右側（駆動側）からアクスルを差し込みます。このとき赤い可動式レバーは先に出しておきます。



2. 赤い可動式レバーを使ってアクスルを締め付けます。



3. 締め付けたら赤い可動式レバーをアクスル内に押し込んで格納します。



4. クイックリリースレバーを閉じて固定します。



5. 必要に応じて、4mm六角レンチを使って張力を調整します。



6. クイックリリースレバーはボトムケースにぴったり付けるように閉じてください。

※取り外しの際は、上記の逆順になります。

Q-LOCの取り付け・取り外し

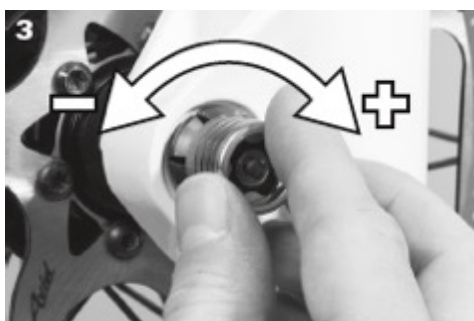
取り付け



1. アクスルを挿入する前に、赤いフランジが広がっている事を確認し、レバーを完全に開いた状態にしてください。



2. 「カチッ」と音がするまでアクスルを押し込みます。フランジが広がっていることを確認してください。



3. レバーを半分閉めた状態で張力を調整し、フランジがボトムケースにぴったり付くようにしてください。



4. レバーをしっかり閉じてください。車輪が確実に固定されているか確認し、必要に応じて締め直してください。

取り外し



1. 右側（駆動側）のレバーを完全に開いてください。



2. 左側（非駆動側）のナットを押し付け、赤いフランジが内側に引っ込んでナットと同じ外径にします。



3. ナットを押し付けたまま時計回りに回し、手を離してもフランジが開かなくなるようにします。



4. アクスルを引き出します。

SAGの設定

SR SUNTOURサスペンションエアスプリングフォークを、最高のパフォーマンスで使用するには、適切なサグ設定になるように空気圧を調整します。サグとは、サスペンションが体重、乗車時の装備、荷物の下で圧縮される量です。サグ範囲は、サスペンションフォークのフルストロークから設定する必要があります。必ず、圧縮ノブをOPENの位置にしてサグを設定してください。

- 下のチャート（表）は、推奨されるサグ範囲と、工場出荷時に設定されたSR SUNTOURエアサスペンションフォークの空気圧チャートです。これらが出発点であることを忘れないでください。調整は、ライダーの能力、トレイルの状態、フレームのデザイン、個人的な好みによって異なります。サスペンションフォークを設定したら、サグが推奨される設定範囲内であることを確認します。
- サグは、装備（バックパックなど）を含むライダーの体重、乗車時の位置、フレームの形状によって引き起こされる圧縮であり、乗車の結果ではありません。ライダーごとに体重と乗車位置が異なるため、フロントフォークのサグは状況により異なります。サスペンションフロントフォークの適切な機能を確認し、そのパフォーマンスを妨げないようにするには、適切なサグ設定をすることが、エアサスペンションフォークの正しい空気圧を見つけるための重要な方法です。

EQエアフォークの設定のヒント

- ステップ1：推奨空気圧を入れ、フォークをフルストロークの少なくとも50%、数回圧縮して、ポジティブとネガティブのエアチャンバー間の空気圧を等しくします。
- ステップ2：装備（バックパックなど）を付けた状態で自転車にまたがり、誰かに自転車を支えてもらいながらペダルの上に立ち、フォークを数回圧縮します。次に、自転車に通常のライディングポジションで座ります。
- ステップ3：サグインジケーターのOリングをダストシールの上部までスライドさせます。
- ステップ4：フォークがそれ以上圧縮されない様に注意しながら、ゆっくりと自転車から降ります。
- ステップ5：Oリングの位置を確認して、サグ設定が適正に行われているかどうかを確認します。
- ステップ6：サグの設定が適切に行われていない場合は、空気圧を調整する必要があります。
- SAG（サグ）を上げるには、空気圧を下げます。
- SAG（サグ）を下げるには、空気圧を上げます。

✓ 適正なサグポイントが見つかるまで、上記の手順を繰り返します。

フォークストローク	SAG（サグ） （%）	SAG（サグ） （mm）
200 - 180mm	30 - 35%	70 - 54mm
180 - 160mm	25 - 30%	54 - 40mm
160 - 140mm	20 - 25%	40 - 28mm
140 - 120mm	20 - 25%	35 - 24mm
120 - 100mm	15 - 20%	24 - 15mm
100 - 80mm	15 - 20%	20 - 12mm
80 - 63mm	10 - 15%	12 - 6mm

エアプレッシャーの調整



警告！

このマニュアルで推奨される設定は、乗り初めの乗り心地をできるだけ簡単に見つけるための出発点として設定されています。詳細及び適切なアドバイスを得るために、お近くの自転車店で資格のある訓練された自転車整備士に相談してください。フォークに慣れてきたら、必要に応じて設定を調整してください。

ライダーの体重 (kg)	推奨空気圧 (psi) ＜EQエアースステムフォーク＞		
	RUX38 / DUROLUX38	DUROLUX36 / AURON35	AXON34-werx
< 55	< 40	35 - 50	40 - 55
55 - 65	40 - 50	50 - 60	55 - 65
65 - 75	50 - 60	60 - 70	65 - 75
75 - 85	60 - 70	70 - 85	75 - 85
85 - 95	70 - 85	85 - 105	85 - 100
95 <	85 +	105 +	100 +
工場設定空気圧	70psi	90psi	95psi
最大可能空気圧	105psi	120psi	145psi

ライダーの体重 (kg)	推奨空気圧 (psi) ＜エアースステムフォーク＞									
	AION35 ZERON35	AXON34 RAIDON34 XCR34-air	AXON32 EPIXON32 RAIDON32 XCR32-air	XCR 24" air	XCM-Jr.- air	MOBIE34- air MOBIE45- air	Mobie25- air	GVX32-air	NRX-air	NCX-air
< 55	35 - 50	40 - 55	40 - 55	40 - 55	40 - 55	35 - 50	40 - 55	40 - 55	40 - 55	40 - 55
55 - 65	50 - 60	55 - 65	55 - 65			50 - 60	55 - 65	55 - 65	55 - 65	55 - 65
65 - 75	60 - 70	65 - 75	65 - 75			60 - 70	65 - 75	65 - 75	65 - 75	65 - 75
75 - 85	70 - 85	75 - 85	75 - 85			70 - 85	75 - 85	75 - 85	75 - 85	75 - 85
85 - 95	85 - 105	85 - 100	85 - 100			85 - 105	85 - 100	85 - 100	85 - 100	85 - 100
95 <	105 +	100 +	100 +			105 +	100 +	100 +	100 +	100 +
工場設定 空気圧	90psi	95psi	110psi	50psi	50psi	90psi	100psi	85psi	85psi	80psi
最大可能 空気圧	120psi	145psi	145psi	100psi	100psi	120psi	130psi	120psi	120psi	120psi

注意：上記の数値は参考値です。正しい空気圧は、SAGをチェックして個々に調整する必要があります。

エアボリュームの調整

追加の調整オプション：エアボリュームアジャストスペーサー

一部のフォークモデルでは、エアボリュームスペーサーを変更することで、ミッドストロークとボトムアウトの抵抗の量を簡単に内部調整ができるようになっています。

サグを設定しても、簡単にフルトラベルしボトムアウトしている場合、1つかそれ以上のスペーサーを追加して、ボトムアウト前の抵抗を上げボトムアウトを防止することができます。

サグを設定しても、まだフルストロークしていない場合、1つかそれ以上のスペーサーを取り外して、ボトムアウト前の抵抗を減らし、ボトムアウトを防止することができます。

その手順と調整は、下チャート（表）を参照して行って下さい。

		EQエアシステムフォーク									
		エアボリュームスペーサー数（ラバークリップ式）									
		RUX38		DUROLUX38		DUROLUX36		AURON35		AXON34-werx	
樹脂タイプ スペーサーボ リューム		8.6cc		8.2cc		7.5cc					
ゴムタイプ スペーサーボ リューム				7.5cc-15mm		7.5cc-15mm		7.5cc-15mm		5cc-10mm	
		工場出荷 時の設定	最大可能 スペー サー数	工場出荷 時の設定	最大可能 スペー サー数	工場出荷 時の設定	最大可能 スペー サー数	工場出荷 時の設定	最大可能 スペー サー数	工場出荷 時の設定	最大可能 スペー サー数
樹脂タイプ スペーサー		5	5	3	3	3	3				
ゴムタイプ スペーサー	200mm										
	180mm			2	6	1	6				
	170mm			3	6	2	6				
	160mm			4	6	3	6	7	10		
	150mm					4	6	8	10		
	140mm							9	10		
	130mm										
	120mm									3	8
	110mm									3	8
	100mm									3	8

	エアシステムフォーク									
	エアボリュームスペーサー数（ラバークリップ式）									
	AION35		ZERON35		AXON32		MOBIE34-air		MOBIE45-air	
ゴムタイプ スペーサー ボリューム	5cc		5cc		4.3cc		5cc		5cc	
ストローク	工場出荷 時の設定	最大可能 スペー サー数	工場出荷 時の設定	最大可能 スペー サー数	工場出荷 時の設定	最大可能 スペー サー数	工場出荷 時の設定	最大可能 スペー サー数	工場出荷 時の設定	最大可能 スペー サー数
160mm	3	6								
150mm	3	6	3	6						
140mm	3	6	3	6						
130mm	3	6	3	6						
120mm	3	6			2	4				
100mm					2	4	2	5	2	5
80mm							2	5	2	5
60mm									2	5

注意：

フォークを損傷する可能性があるため、最大ボリュームスペーサーの数を超えない様、ご注意ください。

コイルスプリングのプリロード調整

バネのプリロード（予荷重）を調整することにより、乗員の体重や乗車スタイルに合わせてフォークを調整できます。設定するのはコイルバネの硬さではなく、バネの予荷重です。これにより、乗員が着座した時のフォークのサグ（沈み）が抑えられます。通常は標準硬さのバネが使われています。バネの予荷重は、プリロードアジャストノブを時計回りに回すと強まり、反時計回りに回すと弱まります。SR SUNTOURのサスペンションフォークでは、標準の硬さ以外に、ソフトとハードと2種類のバネをオプションでご用意しております。



フォークのメンテナンス

可動部品は水分や汚れに曝されますので、何度か乗車するとサスペンションシステムのパフォーマンスが低下する可能性があります。サスペンションシステムを高いパフォーマンスで安全に末永くお使いいただくためには、定期的なメンテナンスが必要です。

- **メンテナンス指示内容に従って点検・整備が行われていない場合、サスペンションシステムは保証対象外となります。**
- **サスペンションシステムを洗浄する際には、高圧洗浄機などの高い圧力の水を使用する機器を用いてはいけません。ダストシール部分から水が入り込む可能性があります。強力な洗浄剤も使用しないでください。サスペンションの汚れは、きれいな水と湿った布で拭き取るようにしてください。**
- **過酷な気象条件（冬季、あるいは水がたまった泥だらけの道など）や起伏に富んだ地形を走る場合は、下記「メンテナンスについて」よりも多い頻度でサスペンションシステムの点検・整備を行う必要があります。**
- **お使いのサスペンションシステムのパフォーマンスがおかしい、あるいはハンドルの感覚がしっくりこないとお考えの場合は、すぐにフォークの点検を最寄りの販売店にご依頼ください。**
- **乗った後に必ず行うメンテナンス: フォークの各チューブやダストシールを掃除して少量の油を含ませた布で拭き上げて下さい。フォークパイプの表面にへこみや傷、変色、オイル漏れ等がないことを確認してください。**
- **50時間毎に行うメンテナンス: メンテナンス1（販売店にご依頼ください。）**
- **100時間毎、または年1回行うメンテナンス: メンテナンス2（しっかりグリスを充填し天候による影響からすべてのパーツを保護できるように、できれば冬期に入る前に販売店にご依頼ください）。**

メンテナンス1:

フォークの機能の確認 / ボトムケース底部の取り付け用ねじやナットの締め付けトルク確認（推奨締め付けトルク：ボルトタイプ10Nm、ナットタイプ8Nm） / 傷やへこみ、亀裂、変色、劣化の徴候、軽度の腐食（少量の油を含ませた布で拭き上げて保護）、オイル漏れの確認。

メンテナンス2:

メンテナンス1の項目に加えて、フォーク全体(内側および外側)の分解清掃 / ダストシールやスライダースリーブの清掃および潤滑油塗布 / 締め付けトルクの確認 / 乗員の好みに合わせた調整。
分解する前にフォークのスライダースリーブの遊び（ガタつき）を確認します。スライダースリーブの遊びを確認するには、フォークを車体に取り付けた状態で前輪ブレーキをかけ、ハンドルステムを握って自転車を前後に優しく揺らします。遊びが大きすぎる場合（フォークブレース部で1mm以上）はスライダースリーブを交換してください。

推奨カテゴリー

	ペダルアシスト付きEbike（電動アシストスピード・ペダレック：EU-E45又はUS-Class 3）	ペダルアシスト付きEbike（電動アシストバイク：EU-E25又はUS-Class 1 & 2）	ペダルアシスト付きEbike（電動アシストバイク：EU-E25又はUS-Class 1 & 2）：オフロード用	クロスバイク	トレッキングバイク	シティバイク	ダウンヒルバイク	エンデュロバイク	オールマウンテンバイク	クロスカンントリーレース用バイク	クロスカンントリーバイク
	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー	警告 推奨 カテゴリー
	電動アシストスピード・ペダレック：EU-E45又はUS-Class 3で舗装路や軽度のオフロード用	電動アシストバイク：EU-E25又はUS-Class 1 & 2で、舗装路用	電動アシストバイク：EU-E25又はUS-Class 1 & 2で、オフロード用	舗装路または軽度のオフロード	舗装路または軽度のオフロード	舗装路	ダウンヒル	クロスカンントリー、トレールバイク、エンデュロ	クロスカンントリー、トレールバイク、オールマウンテン	クロスカンントリーレース、クロスカンントリー	クロスカンントリー
	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー		非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー	非推奨 カテゴリー
	ダウンヒル、エンデュロ、オールマウンテン、クロスカンントリーレース、クロスカンントリー	ダウンヒル、エンデュロ	ダウンヒル	ダウンヒル、エンデュロ、オールマウンテン、クロスカンントリーレース、クロスカンントリー	ダウンヒル、エンデュロ、オールマウンテン、クロスカンントリーレース、クロスカンントリー	ダウンヒル、エンデュロ、オールマウンテン、クロスカンントリーレース、クロスカンントリー		ダウンヒル	ダウンヒル	ダウンヒル、エンデュロ、オールマウンテン	ダウンヒル、エンデュロ、オールマウンテン、クロスカンントリーレース
MOBIE34	0	0									
MOBIE45	0	0									
MOBIE25		0									
MOBIE-A32		0		0							
MOBIE-A32 20" CRG	0	0									
XCT-ATB				0							
GVX32-15		0		0							
NRX32		0		0							
NRX30				0							
NVX30				0							
NCX		0		0	0						
NEX-E25		0		0							
CR85-E25		0		0							
TR-HSI				0	0						
NEX				0	0						
M3010					0	0					0
M3010 24"/20"						0					0
CR8						0					
CR7						0					
RUX38 BT			0				0				
DUROLUX38 BOOST			0					0			
DUROLUX36 BOOST			0					0			
AURON35 BOOST			0						0		
AURON34									0		
AION35 BOOST			0						0		
AION34									0		
ZERON35 BOOST			0						0		
AXON34 werx BOOST										0	
AXON34 elite BOOST										0	
AXON32 werx										0	
AXON34 BOOST			0								0
AXON32 BOOST											0
AXON32											0
EPIXON											0
RAIDON34 BOOST		0	0								0
RAIDON32 BOOST											0
RAIDON32											0
XCR34 BOOST		0	0								0
XCR32 BOOST											0
XCR32											0
XCR24"											0
XCM34 BOOST		0	0								0
XCM32 BOOST											0
XCM											0
XCM 24" BT					0						0
XCM-JR. 20"					0						0
XCT30					0						0
XCT 24" plus					0						0
XCT28 L24"					0						0
XCT 20" plus					0						0
XCT L20"					0						0
XCT 24"/20"					0						0
XCE28					0						0

カスタマーサポートオフィス

アジア・オセアニア

SR SUNTOUR INC.

#7 Hsing Yeh Road
Fu Hsing Industrial Zone
Chang Hua, Taiwan, R.O.C.
Tel: +886-(0)4-769-5115
service@srsuntour.com.tw

SR SUNTOUR INTERNATIONAL CO., LTD.

No. 1500 Honghu Road, Penglang
Kunshan, Development Zone
Jiang Su Province, China ZIP 215333
Tel: +86-512-5517-1127
sr-service@srsuntour.com.cn

SRS INTERNATIONAL TRADING LTD.

Room 501, 5th floor, Building No. 2
Jiaxing Industrial Zone, Shubei Road
Gongming Town, Guangming District
Shenzhen City, China 518106
Tel: +86-755-271-084 83
service@srsuntour.com.cn

SR SUNTOUR ジャパン

〒111-0051
東京都台東区蔵前3-13-13
NRビル 4F
Tel: +81-3-5829-9211

ヨーロッパ

SR SUNTOUR EUROPE GmbH

Riedstrasse 31
83627 Warngau, Germany
Tel: +49-(0)802-150-793-0
service@srsuntour-cycling.com

SR SUNTOUR Technical Service Center

Max-Planck-Str. 4
97526 Sennfeld, Germany
Tel: +49-(0)9721-473-4896
service@srsuntour-cycling.com

SAV SR SUNTOUR FRANCE

604 voie Galilee
73800 Sainte Helene du Lac, France
Tel: +33-(0)981-241650
sav@srsuntour-cycling.com

アメリカ

SR SUNTOUR North America Inc.

7509 S. 5th Street Suite 124
Ridgefield, Washington 98642
Tel: +1-360-737-6450
Sales: ssna@srsuntourna.com
Service, warranty: service@srsuntourna.com

SR SUNTOUR Madison

910 Watson Avenue
Madison, Washington 53713 USA
Tel: +1-608-229-6610
service@usulcorp.com

ウェブリンク

詳細はSR SUNTOURのウェブサイト(www.srsuntour-cycling.com)を参照してください。
また、以下のリンクもご利用ください。

- ◆ サービスリクエスト : <http://www.srsuntour-cycling.com/service/service-request>
- ◆ マニュアルビデオ : <http://www.srsuntour-cycling.com/service/tech-videos>
- ◆ ダウンロードエリア : <http://www.srsuntour-cycling.com/service/download-area>
- ◆ 取扱説明書 : <http://www.srsuntour-cycling.com/ja/service/download-area/consumer-downloads/bike/owners-manuals/general-fork-manual/>
- ◆ フォーク用語集 : <http://www.srsuntour-cycling.com/service/fork-glossary>
- ◆ 保証関係 : <http://www.srsuntour-cycling.com/service/warranty>